

2021年6月17日

上嶋浩順氏の論文不正に関する声明

理事長 山蔭道明

日本麻酔科学会は、2020年3月に表面化した本学会会員である上嶋浩順氏（当時）の論文不正疑惑問題に関し、「上嶋浩順氏論文調査特別委員会」を立ち上げ、各種資料の精査、研究実施施設の調査、本人並びに関係者への面接調査・書面調査により事実関係を調査した結果、調査対象とした165編のうち不正があった論文（不適切なオーサーシップ含む）142編（原著12，症例報告9，関連領域1，Letter120）などとする調査をまとめ、これを本年5月28日に公表いたしました。

この調査結果を受けた本学会としては、同会員に対して厳正なる処分手続きを行うべき重大事項であると認識し、定款、会員の懲罰に関する細則に基づき、6月2日に開催された社員総会にて同会員の除名、指導者である大嶽浩司氏を会員資格停止2年11か月、認定医資格停止2年11か月の処分を決議いたしました。

関連諸団体、施設におかれましてもこのような案件を二度と繰り返さないためにも、今後の活動に対してはご留意をいただくよう、これら事実を公表して強く要請をいたす次第です。

本学会は、今後、研究活動の不正行為を防止するための教育、啓発活動を継続的に実施し、再発防止に努めることを理事会で確認し、ここに声明として明らかにいたします。